

報道関係各位

2023年06月16日
スカイディスク

AI x SaaS生産スケジューラ「最適ワークス」のスカイディスク がイジゲングループと業務提携

九州エリアの製造業への「最適ワークス」拡販とDX人材育成プログラムの開発・提供で連携。エンジニア志望学生向けにAI開発エンジニアとの交流イベントを開催・参加者募集

国内製造業のDX支援を行う株式会社スカイディスク（以下 スカイディスク）は、同じ九州内である大分に本社を構え、新規企業や経営課題に対するワンストップのDX支援を行うイジゲングループ株式会社（本社: 大分県大分市、以下 イジゲングループ）と業務提携を実施しました。

これにより、スカイディスクが開発・提供するAI x SaaS生産スケジューラ「最適ワークス」の九州エリアにおける販売を強化し、大手だけでなく中堅・中小を含めた製造業のDX推進・クラウド化を加速していきます。

また、これまで両社それぞれで行っている地方自治体等へのDX人材育成プログラム開発・提供についても、連携を進めてまいります。

そうした九州でのDX推進の一環として、まずは2023年6月23日（金）には両者代表の対談イベント

（<https://connpass.com/event/286662/>）を開催し、エンジニアを志望する学生がAI開発エンジニアと交流できる場を企画しています。



イジゲングループ株式会社

■ 業務提携の背景と目的

日本の製造業のデジタル化は喫緊の課題となっています。経済産業省が2018年に公開した「DXレポート」には、過去にオンプレミスで構築されたレガシーシステムに依存するリスクが言及されています。企業特有の仕様の複雑化や担当エンジニアの退職による仕様のブラックボックス化、また、システムが使用しているアプリケーションのサポート切れといった老朽化の進行などの課題があることから、企業がこれらのシステムに依存し続ける場合、2025年以降最大12兆円にもものぼる経済損失が経済全体に発生すると指摘しています。

このように、これからの製造業ではオンプレミス、フルスクラッチの開発に極度に依存したシステム利活用戦略から、クラウド、画一的なシステムの利活用と、企業の優位性の基盤となる独自システム開発の両立に移管していくことが求められています。

加えて、製造業では近年、多品種少量の潮流により生産計画が複雑化しています。製造過程では製品ごとに異なる製造条件により、人間の頭では考慮しきれない多くの条件を考慮して生産計画を立案する重要性が増しています。しかし、スカイディスクが製造業従事者350名以上を対象に実施した「生産計画へのツール導入に関するアンケート」によると（※1）、実に80%以上が「未導入」「検討中」「過去に検討したが諦めた」と回答しており、本分野でのデジタルツール活用が進んでいない現状があります。また、ツールを既に導入した企業でも、その90%以上が「運用に課題がある」と回答しています。

新型コロナウイルスによる不確実な状況、かつ、円安に起因する資源・原材料価格の高騰など、製造業界全般とし

て厳しい事業環境下に置かれています。中長期的な円安トレンドの継続が想定される中、事業を継続的に成長させていくためには、人材や設備をより効率的に活用し、原価上昇を抑制していくことが求められます。特に、工場の生産効率を上げていくためには、ハードウェアへの投資だけでなく、オペレーションへの投資・クラウドシステムも活用したDX化の重要性が高まっています。

スカイディスクは、製造業の生産計画をAIが自動で立案するSaaS「最適ワークス」の普及を通して、生産計画を起点とした製造業DXを推進しています。また、AIによりルーティンワークの効率化を図ることで、従業員にチャレンジの機会を提供したり、新たなスキルを学ぶ機会を提供したりするなど、人的資本経営の実現も支援しています。

令和3年度の情報通信白書によると、国内製造業におけるDX取り組み状況はわずか22.8%、中小製造業においては更に低い10.6%（※2）となっています。

自社の営業体制だけでなく連携先を増やしていくことで国内におけるDX支援を加速したいスカイディスクと、取引先企業の支援に繋がるサービスを取り扱っていききたいイジゲングループとの思いが一致し、今回の業務提携に至りました。

■ 両代表によるエンジニア志望学生を対象とした対談イベント開催！

イジゲングループ代表の鍋島佑輔氏と、スカイディスク代表の内村安里による対談イベントを開催します。また、スカイディスクからは「最適ワークス」のAIエンジン開発に携わるエンジニアも複数名参加いたします。学生のみならず多く出会い、楽しい時間となればと思いますのでぜひお越しください。

<開催概要>

日時：6月23日（金）19:00-21:00（受付開始 18:45-）

会場：二瀬交流センター（〒820-0044 福岡県飯塚市横田809番地）

参加対象：エンジニアを志望する学生

参加費：無料

申込：<https://connpass.com/event/286662/>

■ 最適ワークスについて

最適ワークスは株式会社スカイディスクが開発・提供する、製造業向けAI x SaaS生産スケジューラ（生産計画自動立案システム）です。「いつまでに、何個、どの製品を」というオーダー情報から、AIが設備稼働・人員配置の割付け計画を瞬時に立案します。

独自開発エンジンにより、マスター設定にかかる手間を劇的に改善。製造業各社がスモールスタートできるサービスを実現しました。

製品サイト：<https://saiteki.works/>

■ イジゲングループ株式会社 会社概要

本社所在地：大分県大分市大道町2丁目6番26号 N2G

代表者：代表取締役社長 鶴岡 英明 / 代表取締役専務 鍋島 佑輔

設立：2020年10月6日

事業内容：企業の新規事業や経営課題の解決に向けた伴走支援サービス

地方自治体や金融機関と共創する地域企業向けのDX支援サービス

上記を推進するためのインターネットサービスの開発・運営

会社サイト：<https://ijgn.group/>

■ 株式会社スカイディスク 会社概要

2013年の創業以来、製造業を中心に200社超のお客様と約500件のプロジェクトに取り組んできました。そこで得

た知見・ノウハウをサービス・プロダクトとして世の中に還元することが私たちの使命だと考えています。

「ものづくりを、もっとクリエイティブに」をミッションに、人が人にしかできない創造的な仕事に打ち込む世界の実現に向けて、AIを活用したDX支援に取り組んでいます。

本社所在地：福岡県福岡市中央区舞鶴2-3-6 赤坂プライムビル4F

代表者：代表取締役CEO 内村 安里

設立：2013年10月1日

事業内容：AIを活用したDX支援

会社サイト：<https://skydisc.jp/>

※1 生産計画へのツール導入に関するアンケート…製造業従事者 352名を対象に実施（期間:2021年10月～2022年6月）。生産スケジューラの導入状況について、導入前（未導入・未検討：35.2%、導入検討中：27.6%）が6割超。導入の前後で課題にぶつかった企業（未導入・過去に検討したことがあるが諦めた：18.5%、導入済・運用に課題がある：17.3%）が約4割を占めました。「導入済・運用もうまくいっている」と回答したのは僅か1.4%に留まりました。

※2 独立行政法人中小企業基盤整備機構「中小企業のDX推進に関する調査」（令和4年5月）より引用

当プレスリリースURL

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000080.000022401.html>

スカイディスクのプレスリリース一覧

https://prtimes.jp/main/html/searchrlp/company_id/22401

【本件に関する報道関係者からのお問合せ先】

株式会社スカイディスク 広報担当：福岡 晶子

電話：0120-29-1331

メールアドレス：a-fukuma@skydisc.jp